

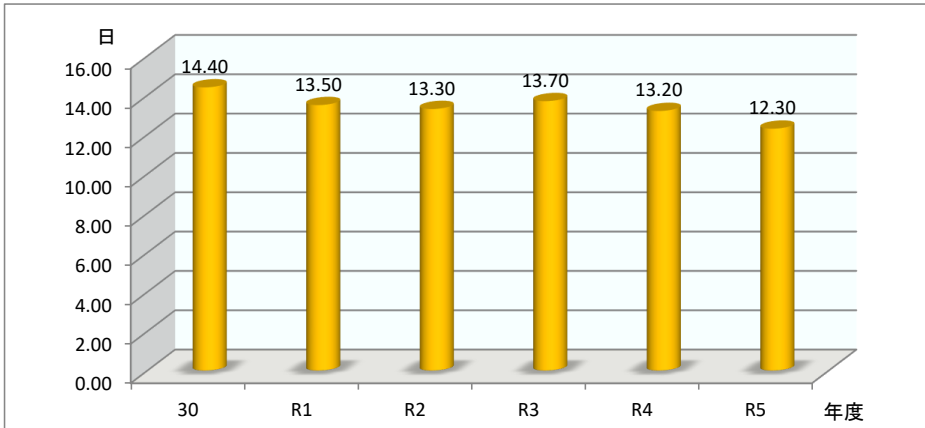
68 平均在院日数

解説

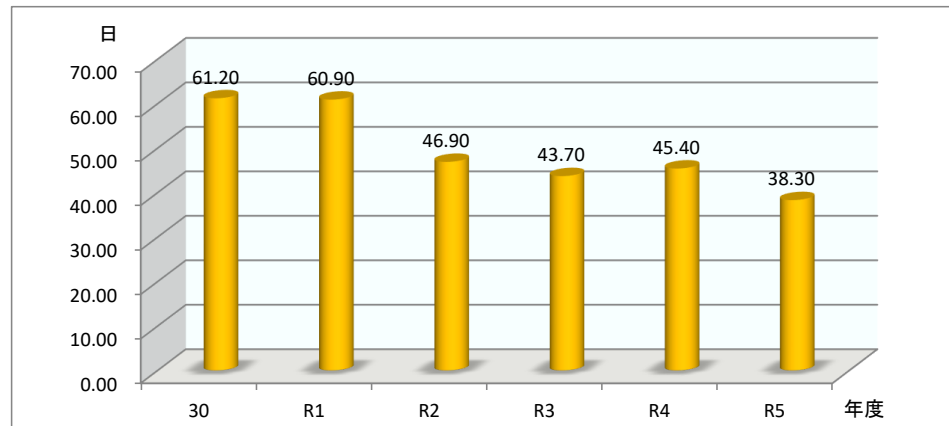
患者が平均何日間入院しているかを表す指標であり、患者の重症度や疾病により違いがあるため単純に比較することはできませんが、質の保証と医療の効率化が高いレベルで達成されるほど、平均在院日数は短縮されるとされています。
また、病床稼働率と合わせて比較することにより、例えば病床稼働率が上昇し、在院日数が短縮している場合は、地域の医療機関などと連携しながら、急性期医療を効率的に行っていると考え

実績

一般病床



精神病床



自己点検評価

一般病床・・・ 減少傾向にあります。
精神病床・・・ 減少傾向にあります。

定義

対象年度1年間の、一般病床及び精神病床における平均在院日数。
※平成28年度より追加された項目です。

算式

平均在院日数＝「在院患者延数」÷（（「新入院患者数」＋「退院患者数」）÷2）